



平成28年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスプール
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 浦上 壮平
 (氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-6859-5599

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第1四半期の連結業績(平成27年12月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第1四半期	2,038	22.7	1	—	△0	—	△8	—
27年11月期第1四半期	1,661	11.5	△22	—	△24	—	△27	—

(注)包括利益 28年11月期第1四半期 △8百万円 (—%) 27年11月期第1四半期 △27百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第1四半期	△2.71	—
27年11月期第1四半期	△9.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年11月期第1四半期	2,725	625	22.7	205.96
27年11月期	2,664	663	24.7	218.74

(参考)自己資本 28年11月期第1四半期 618百万円 27年11月期 656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年11月期	—	—	—	—	—
28年11月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,922	14.1	61	93.4	55	100.8	35	—	11.92
通期	8,220	13.1	270	354.1	258	421.2	183	—	61.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年11月期1Q	3,003,400 株	27年11月期	3,003,400 株
28年11月期1Q	62 株	27年11月期	62 株
28年11月期1Q	3,003,338 株	27年11月期1Q	3,003,338 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、本日(平成28年4月5日)、当社ホームページに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費が低迷し、また、中国の成長率鈍化を始めとする世界経済の減速により、国内景気については足踏み状態が続いております。一方で、雇用情勢については昨年来の人材不足感が継続しており、厚生労働省が発表した平成28年2月の全国の有効求人倍率は1.28倍と、24年ぶりの高水準となっております。幅広い業種で求人が増加し、特に最近では医療・福祉、訪日外国人客の増加で宿泊・飲食サービス業で求人が増えており、雇用の改善傾向が続いております。

当社グループにおいても、当第1四半期連結累計期間は企業の人材ニーズが強く、人材派遣サービスが大きく拡大しました。また、収益改善が喫緊の課題となっているスマートメーター設置業務については、未だ損益分岐には至らなかったものの、業務の徹底的な見直し及び改善により、その損失額は確実に減少しております。当連結会計年度においては、収益基盤を強化するために、①ストックビジネスの強化、②低収益事業の改善、③新たな収益の柱の構築の3点を基本方針として事業を推進していく所存であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,038,454千円（前年同四半期比22.7%増）、営業利益は1,365千円（前年同四半期は22,756千円の営業損失）、経常損失は930千円（前年同四半期は24,593千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,153千円（前年同四半期は27,236千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と大幅な増収と、損益改善を達成しました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純損失」を「親会社株主に帰属する四半期純損失」としております。

(単位：千円)	平成27年11月期 第1四半期	平成28年11月期 第1四半期	増減率
売上高	1,661,191	2,038,454	22.7%
営業損益	△22,756	1,365	－%
経常損益	△24,593	△930	－%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△27,236	△8,153	－%

当第1四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールロジスティクスにてロジスティクスアウトソーシングのサービスを、株式会社エスプールプラスにて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を、株式会社エスプールエンジニアリングにてスマートメーター設置業務等のフィールドマーケティングサービスを、株式会社エスプールセールスサポートにてマーチャンダイジング及び販売促進等のサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、低採算案件の見直しを行い、物流センター運營業務を大幅に縮小した主力のロジスティクスアウトソーシングサービスで売上が減少しておりますが、スマートメーター設置業務、セールスサポート業務及び障がい者雇用支援サービスが拡大し、前述のロジスティクスアウトソーシングサービスの売上減少を補いました。一方、損益面では、スマートメーター設置業務の赤字により苦戦しております。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は766,602千円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益は12,192千円（前年同四半期比43.5%減）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、前述の通り企業の人材不足感が継続しており、主力のコールセンター業務、特に北海道等の地方のコールセンターにおいて需要が好調に推移しました。損益面においては、人材採用市場の需給逼迫の影響により好採算案件へのシフトが進み、売上総利益率がやや改善した他、拠点の効率的な運営に努めた結果、販売費及び一般管理費の増加を抑えることができました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,280,533千円（前年同四半期比27.2%増）、営業利益は118,020千円（前年同四半期比100.8%増）となりました。

平成28年11月期 第1四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成27年11月期 第1四半期	平成28年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	1,670,407	2,047,135	22.6%
ビジネスソリューション事業	663,374	766,602	15.6%
人材ソリューション事業	1,007,032	1,280,533	27.2%
調整額	△9,215	△8,681	－%
合計	1,661,191	2,038,454	22.7%

営業利益（単位：千円）	平成27年11月期 第1四半期	平成28年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	80,372	130,212	62.0%
ビジネスソリューション事業	21,590	12,192	△43.5%
人材ソリューション事業	58,781	118,020	100.8%
調整額	△103,128	△128,847	－%
合計	△22,756	1,365	－%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から51,184千円減少し、1,860,414千円となりました。株式会社エスプールプラスの売上債権の回収が進み、売掛金が65,240千円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末から112,625千円増加し、865,487千円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて千葉若葉ファームや茂原第二ファーム等の新農園を建設しており、有形固定資産が114,831千円増加しました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から130,611千円増加し、1,646,604千円となりました。前述の株式会社エスプールプラスの新農園建設資金や運転資金確保等のために、短期借入金を140,000千円借り増ししております。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末から30,737千円減少し、453,837千円となりました。約定弁済により、長期借入金が40,544千円減少しております。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失により38,432千円減少し、625,460千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、人材ソリューション事業が計画を上回るペースで推移しており、スマートメーター設置業務の遅れを補って連結全体では概ね計画通りであります。スマートメーター設置業務についても第2四半期会計期間には単月黒字に転換する見込みであります。また、前述の人材ソリューション事業を始めとする主力事業の需要見込みに現時点で顕著な変化はなく、期初方針にも大きな修正がないことから、連結業績予想については前回発表の水準になるものと判断しております。

従いまして、平成28年1月13日に公表いたしました平成28年11月期通期連結業績予想については、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純損失等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	691,045	679,497
受取手形及び売掛金	1,031,995	966,754
商品	9,294	15,749
その他	183,468	202,789
貸倒引当金	△4,204	△4,376
流動資産合計	1,911,599	1,860,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	384,852	506,627
その他(純額)	170,727	163,783
有形固定資産合計	555,579	670,411
無形固定資産		
	50,421	65,889
投資その他の資産		
その他	173,092	155,519
貸倒引当金	△26,232	△26,332
投資その他の資産合計	146,860	129,186
固定資産合計	752,861	865,487
資産合計	2,664,460	2,725,902
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,589	104,844
短期借入金	470,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	162,176	162,176
未払法人税等	33,359	6,277
未払費用	436,405	431,645
賞与引当金	8,175	16,904
その他	295,288	314,756
流動負債合計	1,515,993	1,646,604
固定負債		
長期借入金	405,558	365,014
資産除去債務	62,692	72,498
その他	16,325	16,325
固定負債合計	484,575	453,837
負債合計	2,000,568	2,100,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,138	351,138
資本剰余金	201,138	201,138
利益剰余金	104,101	65,914
自己株式	△53	△53
株主資本合計	656,324	618,137
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	638	420
その他の包括利益累計額合計	638	420
新株予約権	6,930	6,901
純資産合計	663,892	625,460
負債純資産合計	2,664,460	2,725,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
売上高	1,661,191	2,038,454
売上原価	1,297,136	1,531,061
売上総利益	364,055	507,393
販売費及び一般管理費	386,812	506,027
営業利益又は営業損失(△)	△22,756	1,365
営業外収益		
受取利息	126	118
受取手数料	214	401
その他	73	51
営業外収益合計	414	572
営業外費用		
支払利息	2,029	2,550
持分法による投資損失	222	317
営業外費用合計	2,251	2,868
経常損失(△)	△24,593	△930
特別損失		
固定資産除却損	122	1,300
特別損失合計	122	1,300
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,715	△2,230
法人税、住民税及び事業税	2,520	5,922
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	2,520	5,922
四半期純損失(△)	△27,236	△8,153
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,236	△8,153

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
四半期純損失(△)	△27,236	△8,153
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	72	△217
その他の包括利益合計	72	△217
四半期包括利益	△27,163	△8,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,163	△8,370
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	660,318	1,000,872	1,661,191	-	1,661,191
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,056	6,159	9,215	△9,215	-
計	663,374	1,007,032	1,670,407	△9,215	1,661,191
セグメント利益	21,590	58,781	80,372	△103,128	△22,756

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,128千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△101,427千円及びセグメント間消去△1,701千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	765,168	1,273,285	2,038,454	-	2,038,454
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,433	7,247	8,681	△8,681	-
計	766,602	1,280,533	2,047,135	△8,681	2,038,454
セグメント利益	12,192	118,020	130,212	△128,847	1,365

(注) 1. セグメント利益の調整額△128,847千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,847千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。